



令和2年10月2日

## 道北地域の物流効率化に向け「道の駅」を活用した共同輸送の試行を実施

～ご協力いただける荷主様を募集します～

道北地域では近年、多頻度・少量・長距離の輸送に対応できる物流事業者が減少し、主に農産品の生産者は自ら選果場まで商品を輸送することでの移動に伴う負担が生じています。

このため、近隣の道の駅を一時的な集荷拠点とし、積荷量に余裕のある長距離物流トラックが立ち寄りながら荷物を共同輸送する試行を実施します。

これにより、新たな輸送ニーズを把握するとともに、広域な生産空間での生産者の負担減、長距離物流トラックの積載率向上の効果等を検証します。

北海道開発局旭川開発建設部では、少量の農水産品や特産品等を輸送している方で、この試行にご協力いただける荷主のみなさまを募集いたします。

### 1 試行の内容

道の駅間を通行する積荷量に余裕のあるトラックを活用した農水産品や特産品等の輸送

### 2 輸送の試行（集荷日時）

- ・第1次集荷 令和2年10月5日（月）～9日（金）
- ・第2次集荷 令和2年10月19日（月）～11月5日（木）

※ 土日・祝日は除く

※ 集荷は各日 10:00～14:00 間を予定

### 3 荷主の募集

募集期間：令和2年10月2日（金）～11月2日（月）

集荷場所：道の駅（なかがわ、おといねっふ、びふか、もち米の里☆なよろ）

※上記の募集期間にお申込みいただき、輸送の試行期間に集荷場所の道の駅まで少量の農水産品・特産品等をご自分で持ち込んでいただける荷主の方が対象となります。（詳細については別紙の「申込説明書」及び「別紙1」をご参照ください）

※申込み方法は、別紙「申込用紙」に必要事項を記載の上、「申込説明書」にある問い合わせ先までメール、FAX または郵送にてお申し込みください。申込の際は注意事項をよくご確認ください。

【試行に関する問合せ】国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部

道路計画課 課長 おさない 長内 まさひろ 正宏 (0166) 32-4285  
道路計画課 道路調査官 おおにし 大西 こうき 功基 (0166) 32-4285



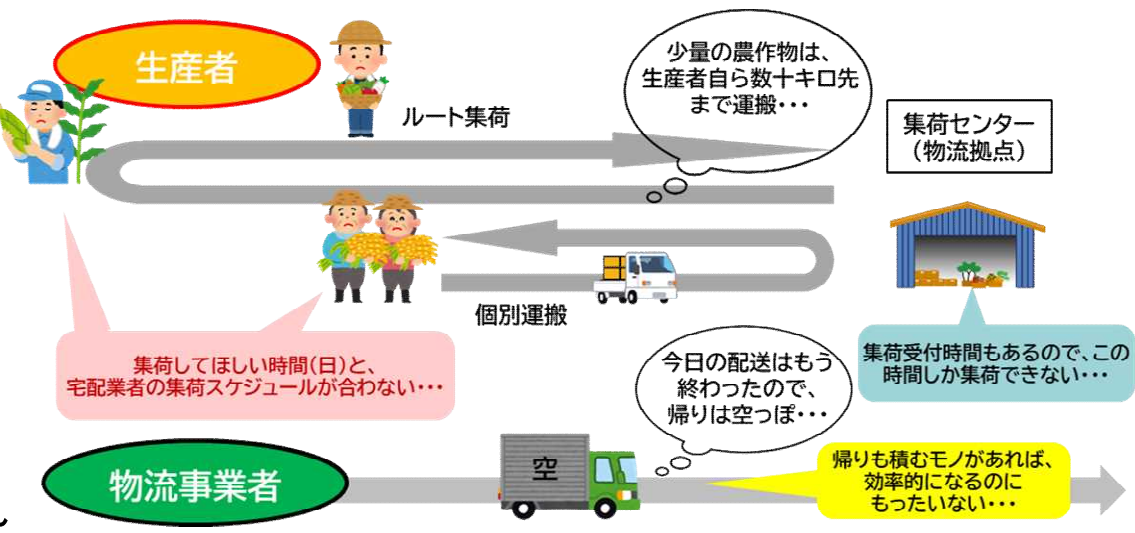
旭川開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/as/>

旭川開発建設部公式 Twitter アカウント @mlit\_hkd\_as

# 「道の駅」を活用した効率的な輸送モデルの検討

## 道北地域における物流の現状

- 【生産者の声】**
- 多頻度・少量・長距離輸送に対応できる物流事業者の減少により、生産者は、農作物等を希望する時に出荷することができない。
  - このため、生産者自ら数十キロ離れた選果場まで商品を輸送する必要があり、移動に伴う負担が生じている。
- 【物流事業者の声】**
- ドライバー不足、輸送需要の多頻度化・少量化・長距離化に伴う物流コスト増、等の要因による**物流事業者の採算性が低下。**
  - 道北地域の輸送は農水産品の収穫期等の季節変動や日用品等の量に左右されることが多く、片荷輸送の頻発など積載効率が悪い。
- ⇒ 物流輸送の減少、生産者負担増により、将来的に我が国の「食」を支える広域な生産空間の維持が困難となる恐れ



## 取組の目的・取組内容

- 【取組の目的】**
- 地域拠点となっている近くの「道の駅」を一時的な集荷拠点として活用することにより、生産者の負担や、片荷輸送による積載効率の悪化などの課題を緩和することで生産空間の維持に貢献

### 【取組内容（ニーズに応じた2つのパターンを想定）】



## 【R2年度の検討内容】

- 道北地域の物流実態を把握
    - ・荷主側・トラック事業者側双方の現状の課題、本取組のニーズや効果等
  - 集荷場所として必要な機能や「道の駅」を活用する上での課題整理
- ⇒ 「道の駅」活用による共同輸送の可能性を検証

R元年度の検討結果

- ストックポイントでの作業時間や必要スペース等を検証
  - ⇒道の駅立ち寄りに要する時間は約10分未満
  - ⇒ストックヤードとして必要なスペースは40m<sup>2</sup>程度

トラックに積み込める小型フォークリフトの活用による積込時間の短縮と労働負荷の軽減

ストックポイントにおけるCRB（コールド・ロール・ボックス）の活用による冷蔵品の保管

## 期待される効果

- 生産者**：希望時に少量の生産物を出荷しやすくなる ⇒ 生産者の負担減・空き時間の有効活用
- 物流業者**：片荷輸送対策による新たな利益が発生 ⇒ 輸送の効率化、ドライバー不足の緩和

**【生産者の負担減や物流トラックの効率化により生産空間の維持・発展を推進】**

## 1 注意事項

・本試行では、国土交通省 北海道開発局 旭川開発建設部の委託を受けた株式会社ドーコン（以下、弊社）が荷主様と荷物の輸送方法について直接ご連絡させていただきます。

・お申込み方法は、申込用紙に必要事項を記載の上、下記問い合わせ先までメール、FAX または郵送にてお申し込みください。

・本試行は、国道 40 号（旭川～稚内）を利用して少量の農水産品や特産品等を輸送している荷主が対象となります。輸送物の内容や一度の輸送量、時間帯によっては、輸送をお受けできない場合がございます。このため弊社にて申込内容を確認した後、お電話により受入れの可否について荷主様とご相談させていただきます。

また、冷蔵品取扱の輸送便においては、常温の品物を輸送できる場合がありますので、申込みの際に、ご確認をお願いいたします。

なお、少量の農水産品や特産品以外にも、自転車・レンタサイクル等の道の駅間輸送も可能です。

・輸送方法は、以下の 2 種類がございますので、お申し込み時にご指定ください。

パターン①（道の駅間の輸送）：荷主様が道の駅 A に持ち込む

⇒片荷トラックが道の駅 B に運ぶ

⇒受取主が道の駅 B に荷物を取りに来る

パターン②（道の駅から全国への輸送）：荷主様が道の駅 A に持ち込む

⇒片荷トラックが契約している宅配業者の配送センターまで運ぶ

⇒宅配業者が日本国内の受取主に届ける

・商品の持込みや受取りが可能な道の駅は原則、次の 4 駅になります。

【なかがわ、おといねっぷ、びふか、もち米の里☆なよろ】

・送り先へのお届け日時、具体的な輸送費、その他の条件等については、弊社にて申込内容を確認した後、お電話によりご相談となります。相談後、ご了承いただいた荷主様のお荷物を輸送させていただきます。なお、ご提示した条件等に賛同できない場合は、お申し込み内容を取り消すこともできます。

・その他ご不明な点やご相談は、下記の「荷物の輸送・申込に関するお問い合わせ」までご連絡ください。

## 2 荷物の輸送・申込に関するお問い合わせ（募集期間中の月曜日～金曜日の 9：30～16：30）

株式会社 ドーコン 交通部

〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 1 丁目 6 番地 さっぽろ創世スクエア 24 階

TEL：011-801-1520 / FAX：011-801-1521 / E-mail：tk1120@docon.jp

担当：小林 岳（こばやし たかし）・佐々木拓哉（ささき たくや）

(申込年月日 令和 2 年 月 日 No. )

## 【申 込 用 紙】

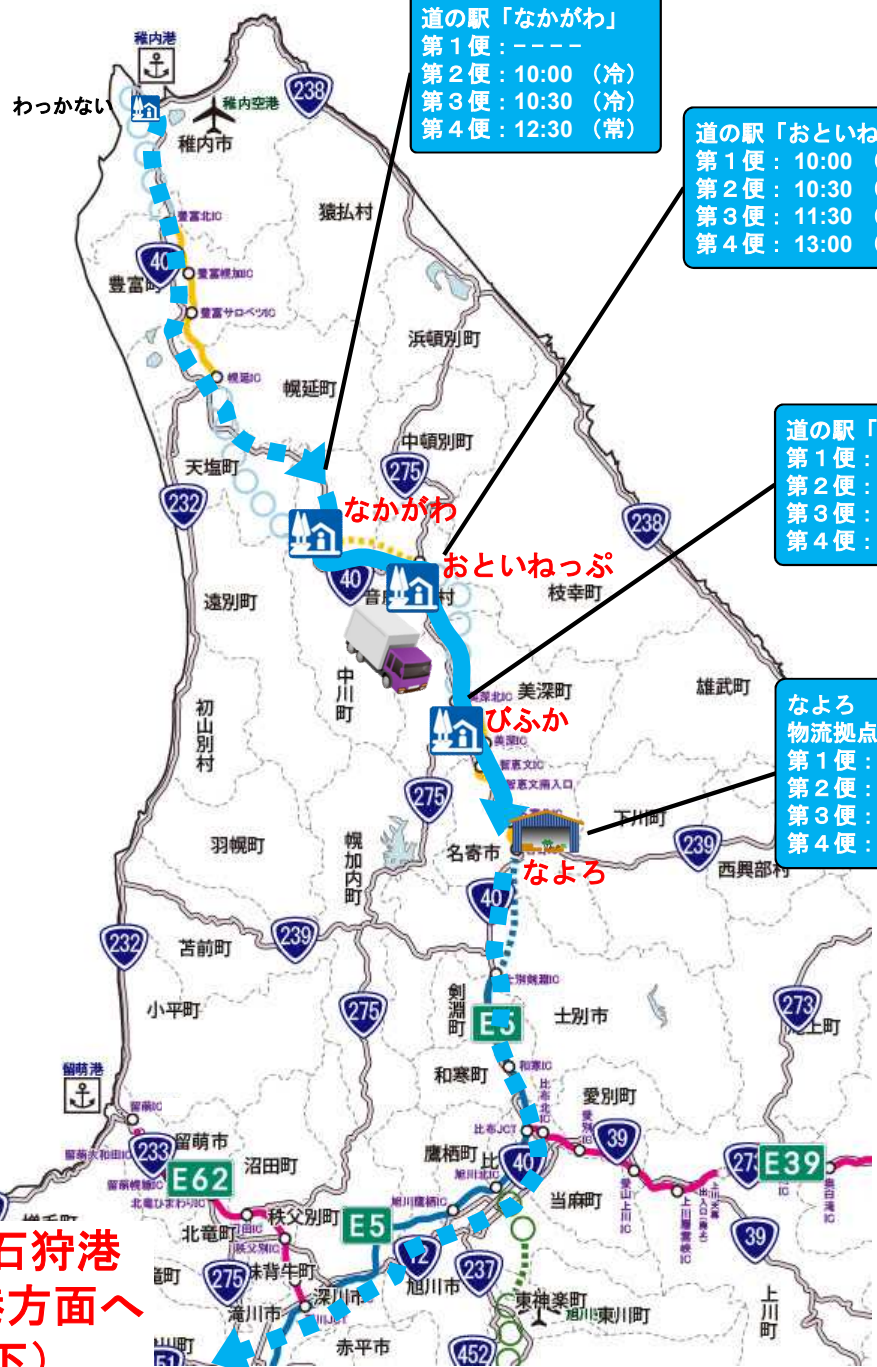
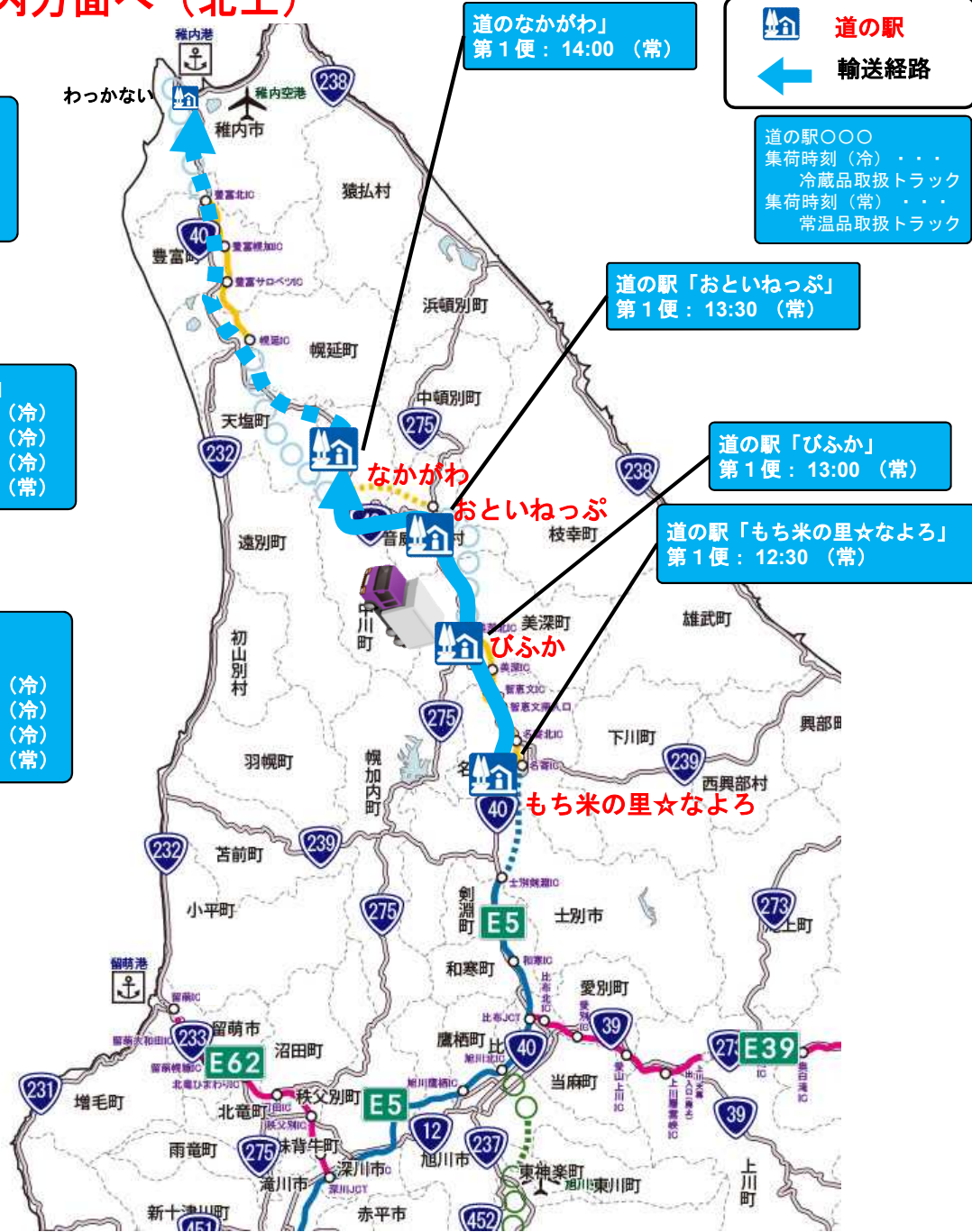
(フリガナ) 事業者名：
(フリガナ) ご氏名：
(フリガナ) ご住所：〒
ご連絡先 電話番号： ( ) E-mail アドレス： ※日中連絡がつく番号を記載ねがいます。
(フリガナ) 品 物：
数 量：段ボール__箱(その他の荷姿となる場合は、直接お問い合わせください)
段ボール箱のサイズ：100 サイズ 120 サイズ その他 ( サイズ) (箱サイズはすべて統一のこと)
温度帯：常温品・冷蔵品 (冷凍品はお受けできません)
商品をお持込みになる道の駅：なかがわ、おといねっふ、びふか、もち米の里☆なよろ
お持込み日時： 月 日 時ころ
輸送方法： パターン① パターン② (道の駅間の輸送) (道の駅から全国への輸送)
受取主の住所：〒
道の駅名 (パターン①の場合)：なかがわ、おといねっふ、びふか、もち米の里☆なよろ
(フリガナ) 受取主事業者名および担当者名：
受取主連絡先 電話番号：( ) E-mail アドレス：
備 考

# 【参考】 試行における輸送ルートと各道の駅での集荷時刻及び輸送温度帯

凡例

 **道の駅**  
 **輸送経路**  
 道の駅○○○  
 集荷時刻（冷）・・・  
 冷蔵品取扱トラック  
 集荷時刻（常）・・・  
 常温品取扱トラック

## 稚内方面へ（北上）



## 道央・石狩港 苫小牧港方面へ（南下）